

沿岸漁業調査試験

至自十七日	十五日	十四日	十三日	十二日	十一日	十日	九日	六月八日	月日
	BC	B	B						天候風力
	3	1	3						符號
	ハ	ロ	イ						漁場
	PM 8-00 AM 2-00	PM 8-10 AM 4-30	P,M 8-00 A,M 4-20						使漁用具
	六	右	從七						使漁用具
	名	全	漁名						數具
	21°	22°	20°2						水面溫度
	1.02649	1.02504	1.02554						比重
	ESE	NE	SW/S						潮流海流
	緩	緩	緩						方向速度
	右	右	鹽						種類
	全右	全右	藏						餌料
	全右	全右	至十						類ノ漁
	全	全	五尋						水深均一尾ノ平
	全	忽	乃百						種類
	鰹鯖	羽鰹鯖	其鰹鯖						數量
	二六三 九	九三五 一六三	二二〇 九三						價額
	二七	一五〇 三〇〇	二七〇 二七〇						摘要
天候不穩ノ爲メ休漁	海上稍々波浪高クシテ餌付不具一回位置ヲ變轉ス且濃霧トナル	海上平靜ニシテ翌朝ニ至リテ餌付良好トナル	潮流後ニ至リテ北東ニ變ズ海上稍々波(ウチリ)アリ	全所出帆午後十時釜山港ニ入港ス	長崎出帆釜山ニ航行中荒天ノ爲メ壹岐隣本浦ニ避泊ス	午前二時長崎港投錨	天候稍々回復セシニ付キ全所出帆長崎ニ向フ	鹿兒島出帆山川ヲ經テ長崎浦ニ避泊	

廿七日	廿六日	廿五日	廿四日	廿三日	廿二日	廿一日	二十日	十九日	十八日	
BC 1	BC 2	BC 3		BC 4		C 3	BC 7	BC 4	C 3	
×	リ	チ		ト		ハ		ホ	ニ	
PM7-50 AM4-50	PM7-50 AM4-20	PM7-55 AM4-30		PM8-00 AM4-00		PM8-00 AM4-10		PM7-50 AM4-30	PM7-50 PM10-00	
右	右	從七		從七		從七		右	從七	
全	全	漁名		漁名		漁名		全	漁名	
20.2	19	19.1		19.5		19.2		19.1	20	
1.02430	1.02495	1.02528		1.02504		1.02508		1.02550	1.02551	
	ESE 緩	ENE 急		ENE 急		E/N 急		ENE 急	NE/E 急	
右	右	右		右		鹽 ダレ ク チ		右	右	
全 右	全 右	全 右		全 右		至 十 尋 乃 百		全 至 十 尋 乃 九 十 匆	全 至 十 尋 乃 八 十 五 匆	
全 四 十 匆	全 七 十 匆	全 六 十 匆		全 七 十 匆		匆		匆	匆	
鰹 鯖 外	鯖	鯖		鯖		鯖		羽 鰹 鯖	鯖	
三 六	三 三	三 四		元		三 四		九 九 五 三	三 三	
〇 三 三								二 三 三 〇		
海上平穩ナレモ一般ニ小鯖多シ	海上平穩ナレモ一般ニ漁群薄シ	夜中一回漁場ヲ變ジタルモ一般ニ餌付不良ニシテ且ツ群少ナシ	荒天休漁	一般ニ餌付不良風波高シ潮流又急	荒天休漁	荒天休漁	波浪高ク降雨ノ兆アリ潮流又急ニシテ餌付不良	荒天休漁	波浪大ナリシモ後風力衰ヘ海上平靜トナル餌付良シ	海上波浪高クシテ餌付不良中途歸航ス

沿岸漁業調査試験

七月一日	自五月二日	六月六日	七月七日
BC <sub>1</sub>	B <sub>4</sub>	BC <sub>3</sub>	
ワ	カ	ヨ	
PM8-00 AM <sup>+</sup> -10	PM8-00 AM4-15	PM7-50 AM4-00	
從七	右	右	
漁名	全	全	
22.2	22	22.5	
1.02402	1.02196	1.02575	
NE <sub>急</sub>	NE <sub>急</sub>	NNE <sub>急</sub>	
青鹽 黒鱈	右	右	
十尋乃至 百十匁	全右	全六尋乃至 百十匁	
鰯 鰯 鰯	鰯	鰯	
六三尾	五三尾	五六尾	
六〇	三〇	〇	
海上平穩ニシテ 透明度十三尋トナル	天候不穩ノ兆アルヲ以テ 休漁	最初餌付不良ナルヲ以テ 回漁場ヲ變移シ好結果ヲ得 タリ	海上風波稍々高シ

五五

五月廿七日頃ヨリ好漁ニシテ此ノ状態ヲ以テ六月十四日頃迄繼續セシモ以後ハ雨季ニ入り海上波浪高ク從漁困難ヲ訴ソルノ状態トナリ。  
 六月中旬以後北方ヨリ來レル寒流、沿岸ヲ西々南ニ走ルモノノ擴張ヲ來シ漁場附近ニ於ケル海水著シク濁リ且ツ水色惡シク水溫ノ下降ヲ來セリ  
 之レガ爲メカ漁場附近魚群稀薄トナリ且ツ魚體著シク小トナリ大ナルモノモ放卵セルモノ多シ。  
 餌料ノ供給ノ釜山附近並ニ巨濟島方面ヨリ受ク一樽、約二斗五升入、貳圓乃至參圓ニシテ潤澤ナリ、然レモ魚價著シク低廉生鱈壹尾貳錢内外ナリ。

廿八日	廿九日	三十日
BC <sub>2</sub>	B <sub>2</sub>	BC <sub>2</sub>
ル	ナ	
PM8-30 AM4-22	PM7-50 AM4-00	
右	右	右
全	全	全
20	21	
1.02420	1.02496	
NE/E <sub>急</sub>	NE <sub>急</sub>	
右	右	右
全右	全右	全右
全八十匁	全九十匁	全九十匁
鰯	鰯	鰯
四七	五〇	
休漁	海上平穩ニシテ多數出漁船 ヲ附近ニ見ル	海上平穩ナルモ魚群薄シ

十七日	十六日	十五日	十四日	十三日	十二日	十一日	至自十九日	八日
B <sub>3</sub>	B <sub>2</sub>	B <sub>3</sub>	濃霧	BC <sub>3</sub>	濃霧	濃霧風力		BC <sub>4</sub>
△	ラ	ナ	子	ッ	ソ	レ		タ
PM7-50 AM4-20	PM7-50 AM4-15	PM7-50 AM5-00	PM7-50 AM4-50	PM8-00 AM4-15	PM7-30 AM4-30	PM8-00 AM4-30		PM8-00 AM3-40
右	右	右	右	右	右	從七		右
全	全	全	全	全	全	漁名		全
24.5	24.5	23.5	21.8	21.5	21.5	21.5		20.5
1.02649	1.02502	1.02532	1.02523	1.02625	1.02625	1.02460		1.02529
NE 急	ENE 急	NNE 緩	NE 緩	ENE 急	ENE 急	ENE 緩		NE 急
右	右	右	右	右	右	背盤 黒 鱈 藏 右		右
全 右	全 右	全 右	全 右	全 半 ト 尋 乃 至 百 四 十 匆	全 右	全 七 十 匆		全 至 十 二 尋 乃 百 匆
全 百 匆	全 百 十 匆	全 百 二十 匆	全 百 六十 匆	全 百 四十 匆	全 百 三十 匆	全 七 十 匆		全 百 匆
鯖	鱈 鯖 外	鱈 鯖	羽 鰓 鯖 外	鱈 鯖	鱈 鯖 其 他	鯖		太 刀 鯖 魚
三 四 尾	二 尾	六 三 尾	三 五 尾	一 四 七 尾	一 八 七 尾	三 四 尾		一 〇 尾
	八 五	四 〇	二 〇〇	一 八〇	三 〇			三 〇
海上稍々風波アリ潮流急激トナル	海上稍々平穩ナリ	潮流少シク緩トナルノ感ヨリ餌料欠乏ノ聲アリ	海上稍々風波高ク餌付極メテ良好ナリキ	波浪稍々高シ餌付良好ナリキ	海上風波稍々高シ後平穩餌付良好	餌付不良ナリシテ以テ漁場ヲ二回轉移セリ魚群薄シ	天候不穩ノ爲メ休漁	風波稍々高ク且ツ餌付不良ナリキ

計	二十日	十九日	十八日
		B <sub>1</sub>	B <sub>4</sub>
		エ	ウ
		PM8-30 AM-20	PM8-20 AM8-20
		右	右
		全	全
		25.5	25.2
		1.02678	1.02663
		ENE 急	ENE 急
		右	右
		全右	全右
		全百 十 匆	全百 匆
其 他	鯖 一五、七 尾	羽 鰹外 七 二尾	羽 鰹外 三 九尾
	三 四 二 〇	三 〇	三 〇
	本日ヲ以テ試験終了歸航ノ 途ニ上ル	海上平穩炎天	急潮ノ爲メ一般漁船困難ス

記事

七月ニ入りテモ尙ホ前月下旬全様荒天多クシテ操業困難ヲ來シ魚群薄ク爲メニ從漁船ニシテ歸航又ハ青山島、巨文島方面ニ轉流スルモノ十余隻アリ。

七月十一日海上平穩トナルヲ待テ舊漁場タル(十數年以前從漁セル處ナリト云フ)鴻島沖合漁場ニ出漁魚群探査ニ勉メシモ本漁場モ寒流擴大ノ餘波ヲ受ケ海水著シク濁色ヲ呈シ一夜數回位置ヲ變更セシモ好結果ヲ得ザリキ、然ルニ翌日ヨリ新漁場(關釜連絡船筋ニシテ釜山東南方沖合一帶)ニ好漁ノ報アリ海況亦快優シ七月十六日頃迄一般漁船ノ水揚好況ヲ呈セリ然ルニ其ノ後海上極メテ平穩トナリ無風多ク北東々ニ通ズル潮流急激トナリ潮下ニ壓流セラル、事違ク爲メニ一般漁船(帆船)ハ急メ從漁困却テ極メ十數日ニシテ漸ク釜山ニ歸航スルモノ多シ且ツ中旬以後餌料欠乏甚ダシク一樽參圓ヨリ七圓ヲ唱フルニ至レリ全時ニ魚群亦々稀薄トナリ漁獲少シク大ナレト抱卵スルモノ全ク無ク味ヒ又美ナラズ。

附 鯖尾數計算法(鹿兒島縣海出漁組合制定)

- 體長壹尺貳寸以上ヲ壹尾トス
- 體長壹尺貳寸以下壹尺以上ハ參尾ヲ以テ壹尾トナス
- 體長壹尺以下ハ總テ六尾ヲ以テ壹尾トナス

本年ハ釣鯖一般ニ薄漁ニシテ漁季中荒天多ク加フルニ魚價著シク低廉ニシテ多數漁船ノ漁獲高前年ニ比シ三割減ヲ示

セルニ拘ラス本試験ハ前記試験經過日誌ニ見ルガ如ク其結果良好ニシテ普通漁船ニ比較シ常ニ優秀ナル地位ヲ占メ左記ノ如キ經濟上有利ナル計算ヲ提示スルコトヲ得タリ。

小型發動機付流  
船應用鯖釣漁業

收 入

一金七百七十五圓八十九錢

三ヶ月間漁獲收入高鯖二  
万四千九百八十一尾代

内 譯

金四百十圓六十二錢

自四月一日 至五月十五日 屋久島近海流

金三百六十五圓二十七錢

自六月八日 至七月廿二日 朝鮮釜山近海流

支 出

一金三百圓參拾錢

内 譯

金八十一圓

乗組員八名ニ對スル食料三ヶ月分

金七十七圓二十三錢

餌料用鹽藏鯷代

金九十八圓二十六錢

機關部消耗品費

金十九圓八十錢

天蠶糸竝ニ釣鈎代

金五圓七十八錢

食鹽竝ニ木炭代

金二十四圓一錢

種子油氷カーバイト漁具補修費

收支差引利益金四百七十六圓五十九錢

次ニ參考ノ爲メ右利益金ヲ當業者經營組織ニ倣ヒテ分配ヲ行ハバ

金百九十圓六十三錢

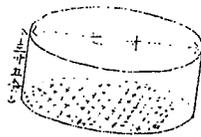
船主所得(利益金ノ四割相當額)

# 鯖釣釣具



鍛鐵製三十番乃至三十五番ヲ用フ

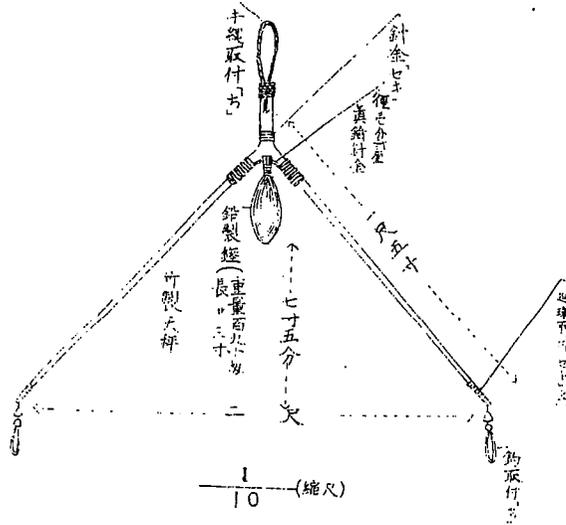
手繩鉢



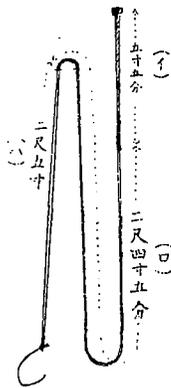
木製

(備考)  
 ・手繩鉢ハ龍製ノモノヲ使用スル者アリテ一策セズ  
 ・天秤竹枝ヲ使用スルモノアリ亦竹肉ヲ以テ作シテ之  
 ・アリ一定セズ  
 ・釣鉤ハ殆ト各自依リ異ナリ前記モノハ本年度本場ニ  
 ・於テ使用セ比較的適良品ナリ  
 ・亦漁場ヨリ魚体ニ大小アリ天蠶糸ト共ニ大小各種アリ  
 ・蘇モ亦各自依リ形状重量ヲ異ニシ前記モノハ斯レ  
 ・普通ナルモノヲ示セリ

天秤



絲釣



(イ) 麻製三子燃 (ロ) 天蠶糸 (中等品) 四本合  
 (ニ) 天蠶糸 (上等品) 二本合 三本合

手繩

綿糸上等三子燃 (二十本合セ)  
 椎皮漆ノ長十五尋

1/10 (縮尺)

金二百八十五圓九十六錢

乘組員所得(利益金ノ六割相當額)

尙該漁船ハ本漁業ニ應用セシ結果ニ鑑ミ在來漁船ニ比較シ左ノ利便ト特長トナ有スルヲ知レリ。

一、適宜ニ漁場ヲ選定シ得ルノミナラス鯖族ノ習性ヲ利用シ漁場ニ於テ機走潮上ニ容易ニ溯航シ常ニ好適ノ位置ヲ保テ流シ釣ヲ行フヲ得ルヲ以テ釣獲上有利ナルコト

二、天候風向ノ影響ヲ受クルコト少ク往復敏活ナルヲ以テ出漁回數ヲ増シ新鮮ナル漁獲物ヲ市場ニ販出シ高價ニ販賣シ得ラル、コト

三、漁場ノ往復共ニ漁夫ヲ休養セシムルコト多ク釣獲時ニ新銳ノ精力ヲ傾注セシメ尙船體ノ割合ニ多數ノ釣漁夫ヲ乗船セシメ得ルコト

右ノ外餌料ノ供給ニ便ニシテ又荒天ニ際シテハ比較的人命船體ノ安全ヲ期シ得ラル、等有形無形ニ各種ノ利便特長ヲ具備シ新業ノ開發福利ノ増進ヲ圖ルニ適スベシ而シテ之ガ實證トシテ朝鮮海從漁中縣下出漁船ニシテ最優良ナリシ漁船(縣下日置郡串木野濱浦安藤某所有)ト本船トノ從漁成績ヲ比較センニ

船名	釣漁夫數	肩巾	船種	釣場高
安藤船	一一人	一丈一尺六寸	帆船	一四、三六九尾
松島丸	七人	八尺	小型發動機付漁船	一五六七四尾

叙上ノ比較ニ依リ其釣揚高ニ於テ千三百五尾ノ增收ヲ示シ更ニ釣漁夫數四名少ク僅カ肩巾八尺ノ扁舟ヲ以テ斯ル成績ヲ示セルノ事實ハ勳力附漁船ノ如何ニ優良ナルヤヲ證スルニ足ラン。

漁夫ハ縣下各地ノ漁村ヨリ撰拔乗船セシメ尙沖合漁場ニ在テハ一般漁船ト伍シ從業シ直接該漁船ノ得失ヲ知悉セシメ以テ勸奨ノ迅速ナランコトヲ期セシノ結果當業者ニ小型發動機附漁船ノ有利ナルコトヲ切實ニ感得セシメ該漁船ノ建造五六隻ニ達シ顯然民間ニ之ガ効果ヲ實現セラレツ、アリ。

### 三、鰺流網漁業試験

從來本縣下ノ鰺ハ鰺網ト稱スル一種獨特ノ旋敷網ニ依リ漁獲セラレ其漁法沿岸岩礁ノ間ニ限ラレ運用漁具ヲ以テ沖合ニ從漁スルノ法行ハレズ而シテ其沿岸ニ群游シ來ルヤ放卵ノ爲ニシテ漁場一定セズ且ツ年々ノ豐凶甚シク其漁業ヤ極テ不安狀態ニ置カレタリ茲ニ本場ハ斯業革新ニ資セントスルノ趣旨ヲ以テ沖合漁法タル流網ヲ創製シ之ガ適否ヲ驗シ魚道ヲ檢索シ魚族ノ習性ヲ究明スル等豫察調査ニ着手セリ。

### 漁具ノ構造

網地 網糸本縣日置産麻製(二子燃(一枚麻太)一寸八分目蛙股編百二十掛三十尋切チ一反トシ口編縁編チ行ヒ横目ニ用フ長サ二十尋網巾三寸(出來上リ)ニ縮結ス

浮子 桐製(長九寸五分巾一寸三分厚七分)ニシテ一反ニ五十五枚ヲ附シ綿糸三十號ヲ以テ浮子綱(棕栢製徑三分)竝ニ

浮子添綱(棕栢製徑二分)ノ間ニ挾ミ結附シ目通シ綱(綿糸四十五號)ニ依リ身綱ニ連ル

沈子 陶器製(一個重量約九匁)ニシテ一反ニ五十個ヲ附シ沈子綱(棕栢製徑二分五厘)ニ通シ沈子結糸(綿糸十八號)ヲ以テ結ビ更ニ目通シ綱(浮子方同大)ニヨリ身綱ニ取附ク

側縁部 ハ縁綱(綿糸六十號)ニ依リ形成セラレ沈子浮子各綱ノ兩端ハ約二尺五寸延長シ各反ノ接續ニ便ナラシメ且ツ接續點ニ浮標樽(約一斗樽大)ヲ附シ上層ヲ流過セシムルノ趣向ヲ採レリ

本試験ハ大正四年五月十八日ヨリ六月六日迄二十日間所屬漁船松島丸ヲ供用シ流網漁具十六反ヲ積載シ漁夫五名機關

部員一名計七名乗組ミ主トシテ屋久島竹島近海ニ夜間作業ヲ以テ沿岸或ハ沖合ニ陸岸ニ併行又ハ潮流ヲ横斷シ波狀形ニ漕航シツ、投網シ出漁七回ニ及ビ晝間ハ各所ノ海洋觀測漁況ノ調査ニ努メタリ。  
 本年ハ他ノ試験ノ關係上試験期間短ク加フルニ稀有ノ薄漁ニシテ魚群ノ來游少ナク充分ナル調査試験ヲ重マルニ至ラザリシト雖モ左記ノ如キ事實ヲ知ルヲ得タリ。

一、罹魚ハ上層ヨリ約二尋附近迄ニ最多ク其一度急速ニ網ニ突進シ來ルヤ胸鰓或ハ吻部ヲ網目ニ刺入レ向上シテ苦悶スルコト十數分間ニシテ死シ網ヲ見テ飛逸スルモノ僅少ナリ

二、漁具ハ特ニ不適合ノ點ヲ見ザルモ希望トシテ結節ハ蛙股ノ要ナク少シク縮結チ大ニシ網巾ヲ二尋位ニ止ムルヲ得策ト思惟ス

三、罹魚ノ損傷スルモノ尠ク魚價低廉トナルノ漸ナシ  
 次ニ參考ノ爲メ左記調査表ヲ掲ゲ鱚習性ノ一般ヲ示サン

五月廿五日 午前四時半 附近	屋久島原 鯛子川尻	漁獲 月日時 漁獲場所	氣象 風力 風向 風位	狀態	海 洋 狀 態	流 量 獲 體 長 體 重	生 殖 器	胃 腸 保 有 物																											
SW	1	雲量	20'	氣溫	757.5	水溫	21.5	比重	1.0248	水色	1	透明度	14	潮流	SW 緩	底質	石或ハ岩	數量	五尾	最長	9.0寸	最短	8.5寸	平均	8.8寸	最重	75匁	最輕	54匁	平均	68匁	生殖	雌雄共ニ熟シ卵巢ノ長々四寸精囊ノ長サ四寸五分	胃腸	雄魚中或ル數尾ノ腹中ニ少量鱚族ノ溶解セシモノヲ臍シ白濁色ヲ呈ス

#### 四、底曳漁業調査

#### 調査ノ目的

沿岸漁業調査試験

由奈本縣海ニハ底棲魚族ヲ目的トスル底曳網類即チ打瀬網又ハ沖毛線網等ノ漁業甚ダ幼稚ニシテ唯僅ニ出水内海ニ於ケル蝦打瀬網、日置沿海ニ於ケル月日介打瀬網竝ニ鹿兒島灣内ニ於ケル帆手線網、蝦打瀬網等主トシテ内灣小規模ノ漁業ニ止マリ外海ノ方面ニハ殆ド其發達ヲ見ズ、元來此種ノ漁業ハ雜多ナル小漁業ノ錯綜スル内灣ニ於テヨリハ寧ロ比較的他漁業ノ支障尠キ外海部ニ於テ適當ノ漁場ヲ開拓發達セシムベキ必要アリ而シテ本縣外海部ニハ該漁業ニ適當ノ漁場アリヤ否ヤ且ツ其發達ニ對シ在來漁業トノ利害關係程度等ハ豫メ之ヲ調査スルノ必要アリ殊ニ近時漸ク灣内漁業益々錯雜シ利害相衝突シ且ツ不漁ノ嘆聲喧傳スルノ時ニ際シ問題多キ此種漁業者ヲシテ内ニ去テ外ニ其新生面ヲ拓カシメンガ爲メ之ガ漁場ノ豫察調査ヲ開始シ併テ底棲魚族ノ種類分布狀態ヲ研究スルコト、セリ。

### 調査ノ方法竝ニ經過

此種ノ漁業ニ使用スル漁船ハ特別ノ構造ヲ有スル所謂打瀬船式ノモノヲ必要トスルモ今回ハ豫備試驗ナルヲ以テ幾多ノ不便ト缺點トヲ有スルニ拘ラズ特ニ設備ヲナサズ便宜所屬漁船松島丸(原八尺長四十尺)ヲ使用スルコトシ船首部ニ曳綱捲揚用トシテ「ウインチ」竝ニ「ローラ」ヲ設備シタルニ過ギズ、乗組人員ハ五名トシ別ニ本網使用ニ熟練セル者ヲ大分縣ヨリ雇聘シ大正四年九月下旬ヨリ同年十一月下旬ニ至ル約二ヶ月間主トシテ縣下川邊郡沿海及肝屬郡外海面ノ一部ニ於テ別項記載ノ漁網ヲ以テ目的ノ調査ヲ行ヒタリ、而シテ茲ニ此種漁網ノ使用法ニ就テ一言センニ打瀬網ノ使用法トシテハ船ノ艙艦ニ長キ圓材ヲ裝置シ其兩先端ヨリ曳綱ヲ延長シテ之ニ漁網ヲ取附ケ船ハ全帆ヲ展シ順風ト順潮ニ乘シテ橫流スルヲ第一法トシ其規模稍小ナルモノニ至リテハ船ハ普通ニ帆走シ漁網ハ其綱口ヲ竹竿ニテ張り擴ゲタルモノヲ曳綱一條ヲ以テ左舷船尾ニ取附ケ引曳スルヲ第二法トス、其他沖手線法式トシテモ帆曳法、舳曳法、潮曳法、碇曳法等アリト雖モ本試驗ニ於テハ單ニ漁場ノ豫行調査ニ止マルヲ以テ使用法ハ調査上ノ便宜ニ依ルコト、セリ但シ右調査供用船ハ小型發動機ヲ備フル漁船ナリト雖モ之レ便宜上同船ヲ供用シタルニ過ギズシテ該漁使用船トシテハ無論斯

ノ如キ動力附漁船ヲ必要トセズ専ラ風力ヲ利用シテ作業スル普通ノ帆船ニテ充分ナルノミナラズ其人員モ普通四五名  
 ニテ充分操業ニ支障ナク實ニ漁業トシテハ勞力資本ヲ要スルコト少ク最モ經濟的ニ成立セル事業ナリトス。  
 調査ノ經過ハ次表竝ニ漁場圖ニ讓ル

### 漁場調査表

月日	天候	風力	潮流	向流	場水	水深	底質	漁具使用時間	種類	獲量	物價	使網上ノ適否	摘	要
廿九日	曇	北三	北東	緩東	廣曾根沖	38	砂	自前五時至正午	いさよりほり	二〇斤	不明	不明	九月廿六日本場出航全廿七日川邊郡片浦着	
廿九日	曇	北三	北東	緩西	全口上	17-25	砂	自前一時至全時半	いながしら	五〇	不明	不明	適風ニ帆走セシモ使網上欠点アリキ	
三十日	曇	二西	緩東	緩東	全ハ上	18-23	砂	自后七時至前七時	いながしら	五〇	不明	否	帆走セシガ小ナル岩礁点在網破損ス	
十月一日	晴	北々東	北々東	緩北	久多島沖	27-35	砂	自后七時至全二時	小たひ	一〇〇	五九〇	適	帆走適風ナリキ	
二日	曇	一南	緩南	緩南	串木野沖	27-35	砂	自前一時至全六時	小たひ	二〇〇	三〇〇	適	帆走適風ナリキ	
三日	晴	二北	緩南	緩南	野間岬沖	63-66	細泥砂	自前二時至全五時	小たひ	一〇〇	二〇〇	不明	泥土深カリキ	
四日	晴	二北	緩南	緩南	ト	45-50	砂	自后七時至全二時	小たひ	七〇〇	三六〇	適	帆走適風ナリキ	
五日	曇	二東	緩南	緩南	羽島沖	42-90	砂	自后八時至前四時	小たひ	一四〇〇	三九〇	適	帆走適風ナリキ	

沿岸漁業調査試験

二十日	十九日	十五日	十四日	十一日	全日	十日	全日	九日	八日	七日	六日
晴	晴	曇	晴	雨	晴	晴	曇	晴	晴	曇	晴
北二東	三北	三東	三北	三東	北二西	二北	北三西	三西	西南四西	北四東	三東
急南	緩南	不定	南々東急	南々西急	北二西急	北急西	北三西急	急北	西南四北々東急	急南	急北
知林島沖	ソ	全ソ上	羽島沖	久多島沖	羽島沖	全カ上	野間岬沖	久多島沖	野間岬沖	串木野沖	野間岬沖
45	80   100	41   44	75   100	52   70		44   54		30   44	42   40	40	90
粗砂	粗砂	砂	砂	泥	細砂	砂	砂	砂	砂	砂	砂
自后六時 至后七時	自前二時 至后二時	自后五時 至后十時	自正午 至后七時		自后六時 至后七時	自后五時 至前五時	自后六時 至后九時	自后五時 至前五時	自后五時 至全九時	自后一時 至前一時	自前一時 至全四時
			雑かながしら魚	雑りながしら魚		雑いそより魚		雑小た魚		雑よそ魚	雑小た魚
			二〇、〇〇	二〇、〇〇		三〇、〇〇 二〇、〇〇 三〇、〇〇		五〇、〇〇		五〇、〇〇 七〇、〇〇	二六、〇〇
						一九〇		七〇		三〇	三〇
不明	否	不明	否	適	否	適	不明	適	不明	適	不明
鹿兒島灣口ニ移ル網海底ニ接着セズ無流	處々ニ岩礁アリ網破損ス本日ニテ川邊郡方面チ引揚ク	十六十七十八日荒天休泊	此深海ニハ棘介多ク價值アル魚族少シ	十二日、十三日荒天休泊	此近海急潮且ツ方向不定		使網上欠点アリキ但急潮ノ爲ナルマシ	底質瓦ナルモ此近海ニハ魚族一般ニ少シ	潮流急迅ノ爲メ囊網壓迫ケレ漁獲無シ	竹枝、樹枝網囊ニ入りシ爲メ舷側ニ於テ網囊チ破損漁獲物ヲ流失ス但相當漁アリキ	全上

沿岸漁業調査試験

廿六日	廿三日	二十二日	二十一日	二十日	十九日	五日	四日	二日	十一月	二十五日	二十一日
晴	曇	晴	晴	晴	晴	曇	雨	曇	晴	曇	晴
北二 東南	北三 東南	北四 東不定	北四 東	南三 西	北二 西南	北四 不定	北四 西不定	北三 東	北二	北一 東	南二 東
緩西	急西	不定	普南	普南	普西	不定	普南	普南	緩南	不定	急南
火崎沖	長坪沖	荒崎沖	火崎沖	火崎沖	岸長沖	火崎沖	枇榔島沖	高崎沖	火崎沖	火崎沖	知林島沖
47   52	50   53	45   50	60   70	45   55	40   50	55   65	20   40	20   40	50	55   60	58
砂	砂	砂	砂	砂	砂	細砂	細砂	細砂	砂	砂	砂
自后五時 至后七時	自前一時 至全六時	自前一時 至全六時	自前一時 至全六時	自前一時 至全六時	自后六時 至后七時	自后五時 至后七時	自前一時 至后六時	自后六時 至前四時	自后七時 至自二時	自后六時 至全三時	自前一時 至后六時
雑小 た魚	ひみ小 らたひ	ほひ小 らたひ	雑小 らた魚	雑小 らた魚	雑小 らた魚	雑小 らた魚	雑小 らた魚	雑小 らた魚	雑小 らた魚	雑小 らた魚	雑小 らた魚
500 000	500 000	500 000	500 000	500 000	500 000	500 000	500 000	500 000	500 000	500 000	500 000
600	200	400	200	600	800	不明	700	不明	900	200	不明
不明	適	適	適	適	不明	不明	適	不明	適	不明	不明
巨浪ノ爲メ曳網不完	廿四日廿五日、荒天休泊	漁場良好ナリ	漁場良好ナリ	相當漁獲アリシモ河豚ノ咬傷ヲ受ク大半流失ス	六日ヨリ十日迄荒天休泊十一日山川港ニ回航十八日迄場務ノ都合上休泊ス十九日有明灣ニ回航ス	潮流混亂使網上欠点アリキ	強風高浪ノ爲メ使網ニ欠点アリキ	曳網上ノ欠点アリキ三日荒天休泊	自六日至三十一日荒天休泊高浪ノ爲メ曳網困難ス	二十三日有明灣方面ニ從流スベク肝屬郡内ノ浦着十四日休泊	岩礁ニ觸レ網ヲ損ス無漁二十三日荒天休泊

廿八日	廿九日
晴	晴
北北	北北
南南	南南
小根占沖	喜エ入沖
45   50	50   100
砂	砂
自前一時 至前五時	自后十二時 至前五時
小たひ 魚び	小たひ 魚び
1	1
1	1
不明	適
廿七日山川方面ニ回航ス	深海ニハ棘介、浮石等多シ淺部ハ適當ナリ漁獲物ハ標本トナス三十日歸場終了

計 小たひ 三七五  
其他 一、五四三

調査ノ結果

以上調査ノ經過ニ由テ之ヲ見ルニ川邊日置兩郡海ニ於テハ北ハ羽島沖合ヨリ南野間岬沖ニ亘リ沿岸ハ水深二十尋ヨリ沖合百尋線ニ至ル間二十回ノ調査ヲ經タルガ本海底ハ主トシテ砂地ニシテ多少ノ泥土ヲ交ヘ既知ノ顯著ナル底礁ヲ避クルノ外ハ殆ド嫌忌スベキ岩礁無ク殊ニ漁季トスベキ冬季ノ北西信風常ニ絶ユルコトナク其風向ト潮流トハ曳網上適切ニ相合致シ漁場ノ地形廣袤之ニ適ヒ此種ノ漁場トシテ最適當ノ場處タルヲ失ハズ殊ハ棲息ノ魚族ハ表示ノ如ク鯛、金線魚、魴、鮒、海老、鰯、鰈等價値アル種類ニ富メリ。

然ルニ本海面ニ於ケル在來漁業ヲ見ルニ該時季中最多ク出漁スルハ小鯛延繩及本釣ノ小漁船ニシテ利害ノ衝突ヲ免レズ、他ノ大型漁船ノ延繩漁ノ如キハ本漁ノ作業シ能ハザル深處又ハ礁地(岩礁點在スル場處)ニ於テ從漁スルヲ以テ毫無關係無ク其陸岸部ニ從漁スル鰯撒餌釣漁場ニ至テハ充分ノ距離ヲ有スルヲ以テ妨害ノ程度ニ非ズ、其他沿岸ニ於ケル鰯大敷網漁等ノ如キハ全然季節ヲ異ニスヘキヲ以テ支障スル所ナシ。

則チ本海面ニ於テ直接ノ利害關係ヲ有スルモノハ前記ノ小鯛延繩及一本釣漁業ナルモ元來此種漁船ノ出漁スル際ハ風力三乃至四以上ノ強風時ヲ利用スルニアルヲ以テ到底普通ノ延繩漁船ノ出漁シ得ベキ日和ニ非ズ則チ是等漁船ノ休泊時ニ從漁スル爲メ直接從漁上ニハ衝突ヲ有セズ唯ダ其漁場及目的物同一ナルガ故ニ彼等ニ取リテハ收獲ノ減耗ヲ免レ

ザルヲ以テ將來此方面ニ於ケル本漁業ノ發達ニ對シテハ附近在來漁業ノ現勢ニ鑑ミ相當ノ制裁ヲ加フルノ必要アルベシ。

而シテ肝屬郡外海面ニ於テハ今回ハ事業期間ノ都合上數回ノ調査ニ止マリシト雖モ大體同郡内ノ浦村觀音崎沖合ヨリ火崎東南沖合ニ互リ志布志灣口ヲ境界トシテ實查シタルニ同海ハ水深底質共ニ適良ニシテ前者ニ優ルモノアリ則チ水深ハ四五十尋ヨリ八九十尋線ニ互リ漁場ノ廣袤前者ニ倍スルノミナラズ傾斜緩慢平坦ニシテ忌避スベキ岩礁稀ナリ底質ハ砂泥ニシテ前者ニ比シ多少泥土ヲ增加スルモ構造上ノ注意ヲ加ヘバ網襪ヲ曳込ム程度ノモノニ非ズ其棲息魚ハ畧前者ト同様ニシテコトニ小鯛、甘鯛、金線魚多棲スルノミナラズ泥地ナルガ爲メ日置川邊海ニ棲息稀ナル鱧、鯉、鰈等ノ有價魚族ニ富ミ漁場トシテ價値更ニ優秀ナリ、而モ該海ニ於ケル在來漁業ニ至リテハ延繩一本釣等ノ關係漁船一般ニ少キノミナラズソノ船體小型ナルガ爲メ冬季ハ殆ド其跡ヲ絶チ其他ノ底魚延繩漁多少從漁スト雖モソハ前述ノ如ク漁場ヲ異ニシ他ニ何等本漁ノ發達上利害關係ヲ有スルモノナキヲ以テ將來此方面ノ開拓ハ頗ル嚮望ニ値スルモノアリ、之ヲ要スルニ兩海共ニ將來有望ノ曳網漁場ナリト雖モ之ガ發達ニ對シテハ他漁業トノ關係乃至漁場ニ對スル經濟的價値竝ニ魚族蕃殖上等ノ諸問題ヲ考慮シ相當ノ制限取締ヲ加ヘザル可ラズ而シテ之ガ取締ノ方法程度等ニ至リテハ尙慎重ナル調査研究ヲ重ヌルニ非ザレバ今茲ニ具體的斷按ヲ下スコト能ハザルヲ以テ次年度以降尙本調査ヲ續行セント欲ス。

### 調査用漁網構造

#### 一、漁網ノ大サ

- 囊部全長四尋 翼網長片手七尋
- 天井網口ノ長三尋 囊口ノ長サ四尺

囊口ノ高サ九尺 袖端ノ高二尺

一、囊部(全部九節目)

(イ) 囊上胴 長四尋切トシ巾一丈三尺(八本合九節百掛一反半接)

(ロ) 囊下胴 長四尋一尺五寸切トシ巾一丈八尺(十二本合九節百掛二反接)

(ハ) 三角網 長一丈三尺切(八本合九節 囊口ヨリ三尺間ハ百掛巾トシ殘一丈間ハ三角網トシ百掛ニ始マリ二目ニ終ル  
(左右二枚)

(ニ) 漏斗網 上下各一枚左右ノ三角網各一枚合計四枚ヨリ來ル即チ全部八本合九節トシ上綱ハ百掛一反五尺切下綱ハ  
同上四尺五寸切トシ左右ノ三角網ハ長四尺五寸切百掛ニ始マリ二目ニ終ル(百掛一反ヲ斜ニ切割リ二枚  
トナス)

以上四枚ヲ組合セ漏斗網ヲ構成シ囊口ヨリ二尺五寸下リノ處ニ縫付ク

一、翼部

(ホ) 片 翼 全部十二本合六節目百掛トシ片翼分立目四反接トス其網高ハ各反口ニ於テ順次遞減ス則チ囊口ノ分ハ一  
丈一尺切二番反一丈切三番反九尺切四番反八尺切トシ手先ハ七尺切トス

右網地ヲ縮結シテ囊口九尺手先三尺長七尋ニ仕立ツルモノナリ而シテ囊口ハ浮子方四尺沈子方五尺ニ仕  
立テ浮子五枚ヲ附ス

(ヘ) 天井網 全部六本合九節目トシ中央ニ六尋切百掛一反ヲ置キ其左右ニ半反則チ五十掛ノ三角網一枚宛ヲ縫合ハシ  
梯形ノ網トナシ其上邊ハ四尺下邊ハ一丈五尺右左邊ハ六尋ノ網ニ縮結ス(其縮結割合ハ凡ソ二割五分翼  
網モ畧同シ)

網モ畧同シ)